

平成31年（令和元年） 東北管内におけるガス事故について

(1) ガス事故詳報対象事故について

① 管内におけるガス事故の発生件数について

平成31年（令和元年）に発生した東北管内におけるガス関係報告規則第4条第1項に該当する詳報対象事故（以下「ガス事故」という。）の発生件数及び被災者数は表1、表2のとおり。

表1 管内のガス事故発生件数 [単位：件]

		H23	H24	H25	H26	H27	H28
東北管内	一般ガス事業	11	12	6	10	8	6
	導管事業	0	0	0	0	0	0
	簡易ガス事業	2	3	1	6	2	3
	小計	13	15	7	16	10	9
全国		467	471	767	674	532	468

		H29	H30	H31 (R1)
東北管内	ガス小売事業	1	3	1
	一般ガス導管事業	4	4	6
	特定ガス導管事業	0	1	0
	ガス製造事業	0	0	0
	小計	5	8	7
全国		406	403	441

注1：H23年の事故件数には、東日本大震災による製造支障事故や広範囲の導管損傷による供給支障事故の件数は含んでいない。

注2：H25年の全国の件数は、FF式レンジフード型給湯器のケーシング変形による事故件数の大幅な増加（前年比289件増）が要因であるが、当該機器メーカー等が積極的に点検、部品交換を実施している過程で多く発見されたものである。

注3：H29年4月改正ガス事業法の施行により、ガス事業類型が変更となっている。

表2 管内のガス事故による被災者数

[単位：人]

		H23	H24	H25	H26	H27	H28
死亡者数	一般	2	0	0	0	0	0
	簡易	0	0	0	0	0	0
負傷者数	一般	14	3	3	3	3	0
	簡易	2	0	0	1	0	1
全 国	死亡	3	0	1	1	2	0
	負傷	78	54	39	51	44	26

		H29	H30	H31 (R1)
死亡者数	ガス小売事業	0	0	0
	一般ガス導管事業	0	0	0
	特定ガス導管事業	0	0	0
	ガス製造事業	0	0	0
負傷者数	ガス小売事業	0	0	0
	一般ガス導管事業	1	0	1
	特定ガス導管事業	0	0	0
	ガス製造事業	0	0	0
全 国	死亡者数	0	0	2
	負傷者数	28	54	39

注1：負傷者数にはCO中毒を含む。

注2：H29年4月改正ガス事業法の施行により、ガス事業類型が変更となっている。

② 管内におけるガス事故概要について

平成31年（令和元年）に東北管内で発生したガス事故を段階別にみると、供給段階で5件、消費段階で2件となっており、製造段階での事故は発生していない。

東北管内のガス事故概要は表3のとおり。

表3 東北管内のガス事故概要（令和元年12月末現在）

月日	県名	区分	段階	現象	事故の概要
① 2月25日	青森	ガス 小売	供給	供給支障	<p>特定製造所の非常用発電機の冷却水ヒータ一部の漏電により漏電ブレーカーが作動し、外部電源が喪失。非常用発電機のバッテリーの不具合により起動出来なかったため、すべての電源が喪失し、温水式気化装置に温水を供給する温水ボイラー及び温水循環ポンプが停止した。</p> <p>温水式気化装置からのガス発生が出来なくなり、自然気化ラインからの供給に替わったが、能力不足から供給圧力が0.6KPaとなり、マイコンメーター出側の低圧ガス遮断装置が作動し、供給支障が生じたもの。</p> <p>（供給支障：44戸、3時間36分）</p>
② 3月7日	宮城	一般 ガス 導管	消費	漏えい・ 引火	<p>需要家がガスコンロ周りを掃除した際に、ガス栓と常に接続していた炊飯器用の迅速継ぎ手の取り外しリングに接触したことによりガス栓との接続が不完全となった。</p> <p>このため微量のガスが漏出し、その状況下において、ガスコンロを使用したことによりコンロの火が漏出したガスに引火したものと推定される。</p>
③ 4月13日	宮城	一般 ガス 導管	供給	漏えい・ 交通困難	<p>道路での異臭の通報により、ガス事業者が調査したところ、ガス漏れが検知されたため、周囲道路が交通規制されたもの。</p> <p>供給管からのガス漏れを確認したため、プラグ止め措置がなされ、後日同管の入れ替えが実施された。原因は自然劣化によるもので、供給支障に至ったもの。</p> <p>（交通規制：周囲道路を警戒区域とし3時間40分間の規制）</p>
④ 10月9日	宮城	一般 ガス 導管	供給	漏えい・ 交通困難	<p>道路での異臭の通報により、ガス事業者が調査したところ、ガス漏れが検知されたため、周囲道路が交通規制されたもの。</p> <p>供給管からのガス漏れを確認したため、プラグ止め措置がなされ、後日同管の入れ替えが実施された。原因は自然劣化によるもの。</p> <p>（交通規制：周囲道路約50mを警戒区域とし1時間15分間の規制）</p>

月日	県名	区分	段階	現象	事故の概要
⑤ 10月12日	福島	一般 ガス 導管	供給	供給支障	<p>台風19号通過に伴う大雨により、市内各地で冠水が発生している状況の中、10月12日21時32分頃を始めとして、需要家からガスが来ないとの通報があり、ガス事業者社員が出動した。</p> <p>3地区131戸において導管内への差し水により供給支障となったもの。</p> <p>今回の事象は、導管の劣化部分に水が浸入したものであり、水取器での採水を行い、10月13日15時13分に供給を再開した。</p> <p>(供給支障：131戸、最大17時間41分)</p>
⑥ 10月25日	福島	一般 ガス 導管	供給	供給支障	<p>大雨により、10月26日8時16分頃ガス需要家からガスが出ないとの通報があり、ガス事業者社員が出動。2地区42戸において導管内への差し水により供給支障となったもの。</p> <p>今回の事象は、導管の劣化部分に水が浸入したものであり、水取器での採水を行い、10月26日14時30分に供給を再開した。</p> <p>(供給支障：42戸、最大20時間)</p>
⑦ 12月23日	福島	一般 ガス 導管	消費	漏えい・引火	<p>営業準備中の飲食店の厨房において、仕込み作業員(A)がガスレンジ(上部がコンロ、下部がオープン)の主器具栓を開けたあと、別の作業員(B)が上部小コンロのバーナーに点火用ライターで着火した。その際、オープン側から漏えいしたガスに引火し、レンジ上部に炎が上がり、(B)が軽度の火傷(毛髪が焦げ、顔の痛み)を負ったもの。</p> <p>今回の事象の原因は、前日、下部オープン側の器具栓が開の状態を終えてしまい、翌日朝、主器具栓を開けたことにより、オープン側から漏れ出たガスが滞留し、コンロへの着火をしようとしたときに引火したものと推定される。</p>